

薬学科のディプロマ・ポリシー

所定のカリキュラムによる教育プログラムに定められた単位を修得し、

1. 医療人としての豊かな人間性、生命の尊厳と患者の人権についての深い認識、人の命と健康を守る使命感・責任感及び倫理観を有する。（薬剤師としての心構え、患者・生活者本位の視点）
2. 生体および環境への医薬品や化学物質などの作用・影響を理解するために必要な科学に関する基本的知識・技能・態度を有する。（基礎的な科学力）
3. 薬剤師として基盤となる知識を修得した上で、安全で有効な薬物療法を主体的に計画、実施、評価、管理する能力を有する。（薬物療法における実践的能力）
4. 情報を収集し提供する能力及びコミュニケーション能力を有し、医療機関や地域における医療チームに積極的に参画して薬剤師に求められる行動を適切にとることができる。（地域の保健・医療における実践的能力、チーム医療への参画、コミュニケーション能力）
5. 薬学・医療の進歩に寄与するための研究を遂行する意欲、課題発見能力、問題解決能力を有する。（研究能力）
6. 薬学・医療の進歩に対応するために、生涯にわたり自己研鑽を続けるとともに、次世代を担う人材を育成する意欲と態度を有する。（自己研鑽、教育能力）
7. グローバルな視点を持ち、国際社会に医療人として貢献できる能力を有する。（グローバル）

と認められた者に対し、学士（薬学）の学位を授与します。

薬科学科のディプロマ・ポリシー

所定のカリキュラムによる教育プログラムに定められた単位を修得し、

1. 薬学・生命科学分野の研究者・技術者に必要とされる豊かな人間性、高い倫理観、知性を有する。（研究者・技術者としての心構え）
2. 化学物質の物理的及び化学的性質・生体や環境との関わり、自然が生み出す薬物、及び生体の成り立ちと機能について高度な知識を有する。（薬学の基礎知識）
3. 医薬品の分析法・合成法・作用機序・体内動態についての高度な知識を有し、医薬品の探索から臨床試験に至る創薬過程を包括的に理解している。（医薬品の基礎知識）
4. 薬学・生命科学分野の研究に必要な意欲、基本的知識と技能、および問題解決能力を有する。（研究能力）
5. 課題発見能力とともに、情報を主体的に収集・活用・発信することができる。（情報収集・発信能力）

6. グローバルな視点を持ち、研究者・技術者として国際社会並びに地域社会に貢献する能力を有する。（地域・グローバル）
 7. 薬学・生命科学の分野で生涯にわたり自己研鑽を続けるとともに、次世代を担う人材を育成する意欲と態度を有する。（自己研鑽・教育能力，研究能力）
- と認められた者に対し、学士（薬科学）の学位を授与します。